

# Bell Friend

鈴鹿大学短期大学部 鈴友会会報 卒業記念号  
令和 7年 3月 14日発行



皆様のご壮健・ご活躍を祈念します



鈴鹿大学  
鈴鹿大学短期大学部 学長  
水谷 明弘

卒業生の皆様、伝統ある鈴鹿大学短期大学部ご卒業おめでとうございます。

皆様には本日を迎えるにあたり本学で過ごした2年の歳月がいかに早く過ぎ去ったかについて深い感慨を持っておられると想像します。皆さまの入学から卒業までの2年間の社会的出来事で振り返ってみることにします。

まず令和5年、スポーツの世界では、WBC（ワールドクラシック・ベースボール）決勝戦がアメリカで開催され、日本は、アメリカを破り14年振り3度目の優勝を飾りました。日本中が熱狂に沸き、低迷気味だった野球の人气が再浮上してきました。さらに、大谷選手が44本塁打を放ち、定説を覆し大リーグで初めて日本人選手が本塁打王を獲得しました。行政面では、文化庁が東京霞が関から京都市へ移転しました。中央官庁が地方へ移転するのは、明治以来行政組織ができてから初めての事です。衛生・健康面では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げになり、ようやく私たちは未知の恐怖から解放されました。これらは、どれも大きな転換とこれまでの常識を覆すものですが、ひとつひとつをしっかりと分析してみると、すべてが理論的に解明できるものだと気がつきます。すべて過去と現実のデータ（量的・質的）から読み取れるのです。

しかしながら、昨年度の元旦に発生した石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震（輪島市、志賀町では震度7を観測）については、現在の英知を駆使しても人間にはまだ予知はできません。ただし、罹災者・避難者支援はできます。

皆さんは、食物栄養学専攻とこども学専攻ですから、すべての罹災者・避難者に支援ができる専門性を有しているのです。皆様の努力で得たものです。

最後に、新しい道を歩むにあたり、どうか志と自己肯定感を高くもって過ごして欲しいと思います。



鈴友会会長  
鎌田 美千代  
(昭和56年度卒業)

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

同窓会として、皆さまをお迎えできることを大変嬉しく思います。

鈴友会は、昭和43年に発足し55年以上活動を継続し、会員数は昨年度の入会者を含めて8,676名となりました。本会は多くの卒業生、旧職員、大学関係者の皆さまに支えられて発展し、会員相互の親睦と教養の向上をはかり、母校の発展を援助することを目的として活動を続けてまいりました。

その活動内容は、総会の開催、会報誌（Bell Friend&卒業号）の発行、会員名簿の作成、管理などです。

皆さまが短期大学部で学び、実習等で経験を積み、無事資格を取得し卒業を迎えることができましたのも、先生方や友達、先輩、応援してくれたご家族の皆さまのお陰だと思います。特に同じ学舎で心を開いて、お互いに刺激しあえる時間を過ごした仲間たちとの縁はこれからの人生において、かけがえのない宝物になるでしょう。その仲間を大切にいただき、その縁が同窓会全体に広がっていくことを願っています。

これからの未来に向かって、皆さまの益々のご活躍とご多幸を心よりお祈りしております。

生活コミュニケーション学科 食物栄養学専攻 ( 櫻井 秀樹 )

ご卒業おめでとうございます。皆さんが今日という日を迎えられるのは、自分自身の努力はもちろんのこと、家族や友人など多くの人の支えがあったからこそです。これまでの感謝の気持ちを大切にしながら、次のステージへと進んでください。

卒業はゴールではなく、新たなスタートです。これからは、自分の選択に自信を持ち、時には勇気を出して挑戦することが求められます。うまくいかないことや壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、困難に直面しても、これまでの経験を思い出し、自分の力を信じてください。失敗を恐れず、挑戦し続けることで、新たな可能性が広がります。

また、どんなときでも人とのつながりを大切にしてください。仲間と支え合い、新しい出会いを大切にするすることで、より豊かな人生になると思います。そして、どこにいても、母校で学んだことを誇りに思い、自分らしく歩んでください。

皆さんの未来が輝かしいものになることを願っています。



生活コミュニケーション学科 子ども学専攻 ( 井上 剛男 )

ご卒業おめでとうございます。

鈴短での2年間、どうでしたか。朝から晩まで続く授業や、睡眠時間を奪うほどの課題に直面しながら、ある人は楽しさを見出し、ある人は辛さを乗り越え、卒業にこぎつけたことを誇らしく思います。皆さんは、自分で工夫したり、仲間と協力したりして、卒業や資格取得という目標を成し遂げたのです。

しかし、社会に出ると卒業や資格取得のような分かりやすい目標はなくなります。何のために仕事を続けているのか。本当はどんな仕事がしたいのか。そもそも仕事がしたいのか。悩む人がいるかもしれません。そんなとき、個人的に大切だと思う2つのうち1つを紹介します。それは、自分の気持ちをごまかさないことです。新しいことにチャレンジしたくなったらその気持ちを押し殺さないようにする。同時にチャレンジすることへの不安な気持ちがあればその気持ちを軽視せず尊重する。自分の中にあるさまざまな気持ちを認め、応答できれば、決断の結果がどうであれ、受け入れられると思います。

皆さんが自分らしく生きることを切に願っています。よかったら学校に遊びに来てください。お金は貸せないが、悩みの内容を整理するぐらいなら協力できるので。



～幹事紹介～

令和6年度卒業生は、本日より鈴友会通常会員となります。そして次に紹介する4名の方々に幹事を務めていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

食物栄養学専攻・・・西村 陽菜さん、長谷 一樹さん  
子ども学専攻・・・石阪 結愛さん、北山 亜佳さん

鈴友会事務局便り

卒業後、鈴友会からご連絡をさせていただくこともありますので、住所・改姓・電話番号など連絡先に変更がありましたら、鈴友会事務局までご連絡をお願いいたします。

皆さん、時々クラス会を開催して近況を把握してください。クラス会報告、近況報告、随時受け付けております。

皆さんで楽しい会報を作りましょう。